



助産師と看取り士 命と向き合う2人が語り合う

医療技術の進歩に伴い、出産での死亡率減少も、急速に早まる、少子高齢化。子どもを産みたいと思う女性が減り、不妊症の増加、産後うつ、児童虐待数の増加、産後1年未満の女性の死亡の一位、15歳以上の子どもの死因の一位が自殺という現状は、「いのち」が尊重される社会と言えるでしょうか。出産や看取りが、病院の施設の中で行われるようになり、暮らしの中で身近に感じられなくなってきた中で、誕生と死は苦しくて、怖いものというイメージを持つ人が多くなりました。本来、人間の持つ力を最大限に発揮できれば、誕生も死も、苦しくて、怖いものではなく、幸せな体験となることを、助産師、看取り士は知っています。そのことを一人でも多くの方に知っていただき、日本人の死生観を取り戻すことが、これからの超少子高齢化時代の課題の解決に繋がり、日本人の生きる力の回復につながると考えています。

この「みとりし」映画上映会と講演を通じて、誕生と死の場面での人間の持つ力の素晴らしさを知っていただき、これからの皆様の暮らしに役立てていただけたらと思います。

誕生と死を暮らしの中に実行委員会



タイムスケジュール

12:30

入場

(ZOOM参加の方は12時50分から入室可)

13:00~14:50

第一部

映画「みとりし」上映会

ロサンゼルス日本映画祭 3冠受賞作品

15:00~16:00

第二部

講演「誕生と死を暮らしの中に」

講師：日本看取り士会 会長 柴田久美子

みき助産院 院長 助産師 新宮美紀

ファシリテーター：京都あいこ助産院 院長 渡邊安衣子

会場

京都府立医科大学附属図書館合同講義室
(広小路キャンパス)

Access 市バス「府立医大病院前」下車 徒歩2分
 京都市営地下鉄「丸田町駅」下車 徒歩20分
 「今出川駅」下車 徒歩20分
 京阪電車「神宮丸田町駅」下車 徒歩10分
 「出町柳駅」下車 徒歩15分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

会場の託児はありません。15歳以下のお子様連れの方は、zoomにてご視聴いただくことができます。

